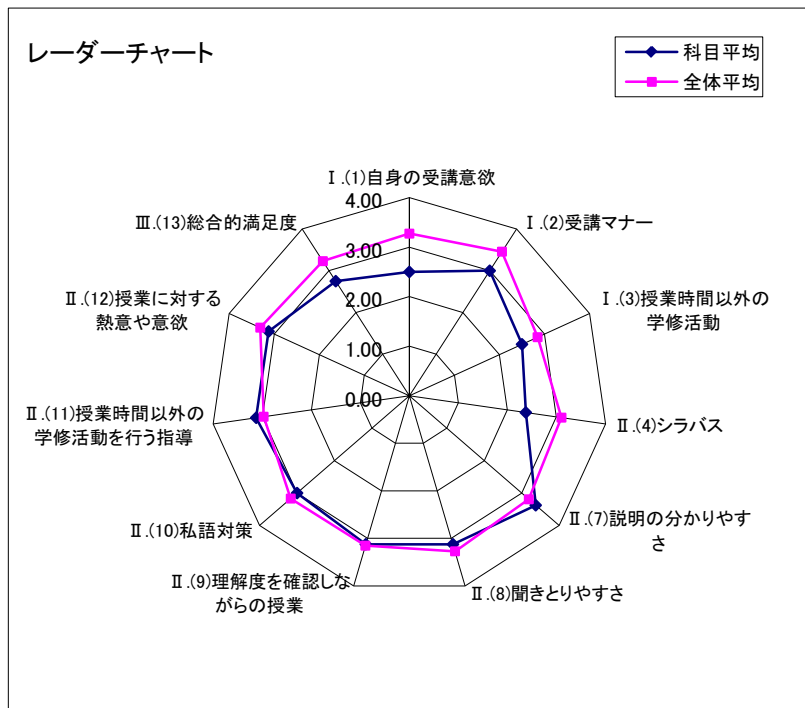
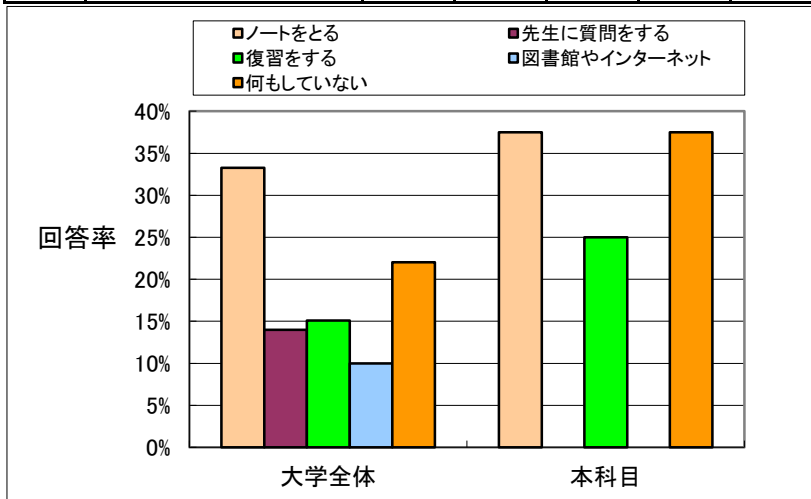


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	0.38	0.00	0.25	0.00	0.38



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	2.50	3.27
	I.(2)	3.00	3.46
	I.(3)	2.50	2.85
講義内容・方法	II.(4)	2.38	3.10
	II.(5)	2.38	3.10
	II.(6)	2.38	3.10
	II.(7)	3.38	3.19
	II.(8)	3.13	3.27
	II.(9)	3.13	3.15
	II.(10)	3.00	3.17
	II.(11)	3.13	2.97
	II.(12)	3.13	3.31
総合評価	III.(13)	2.75	3.23

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	2.67	3.19
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.04	3.17
総合評価 III.(13)	2.75	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	1461
科目名	基礎数学 I
教員名	

①授業計画の達成度について
 開講時の履修者の学習状況を考慮し、初期段階からテキストすべてを扱うのではなく、主に計算技能の習熟を扱うこととし、受講者にもこのことを告知していた。その意味では、当初の予定していた範囲はすべて扱うことができ、達成度は10割であったといえる。

②授業の進め方について
 毎回ある程度の範囲を宿題として課し、授業の前半はその宿題の範囲を出席者一人一人に板書させて、解答・解説を行った。残りの時間は、宿題の先の範囲について事項解説を行いつつ問題演習をした。宿題を自宅ですず、授業開始後に当てられた問題だけする学生もいて宿題の効果が十分であったとは言えない。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 アンケート結果からもわかるとおり、学習意欲が低い(と自覚している)学生が多く、出席があまり良くない者の割合も高かった。数学嫌いの学生の学習意欲を高めていくのは大変困難であるが、今後も工夫していきたい。